

第46期  
株主通信

2017年4月1日▶2018年3月31日

V2020の集大成とその先の明るい社会に向けた、  
3rd STEPの取り組みがスタート!

キューブシステム流サービスビジネスを実現し、お客さまの「ベストパートナー」を目指す

中長期経営ビジョン「VISION 2020」3rd STEPのスタートにあたり、その展望などを座談会で確認しました。



代表取締役 社長  
嶋山 収

スマホ株主通信はこちら!



社長のご挨拶動画もございます。ぜひご覧ください。

[http://p.sokai.jp/archive/2335\\_kabu/kabutsuu46/](http://p.sokai.jp/archive/2335_kabu/kabutsuu46/)

■ 3rd STEPの振り返りからお願うこと。 2012年に、10年先のIT業界に向けて中長期経営ビジョン「VISION 2020」を策定してキューブシステムの変革に取り組みました。1st STEPの3年間は当社の強みを明確にして強化すること、売上高100億円を実現し、年平均成長率(CAGR)も約14%で推移しました。2nd STEPでは、IoTやビッグデータ、フィジカルなど、イノベーションが驚異的なスピードで進み、その急激な変化への対応が2nd STEPの



専務執行役員  
飯田 賢一郎  
営業統括

■ VISION 2020「3rd STEP」の展望をお聞かせください。 VISION 2020「3rd STEP」の状況を改めて確認すると、デジタルテクノロジーが劇的に進歩し、世界を変えるイノベーションが起きています。IoTによるビジネス

■ 3rd STEPの鍵になるか? 飯田 変革に対応する当社ならではのサービスを提供するうえで重視したいのが、当社の特色の一つであるお客さまとともに事業を行っていく成長していくというモデルです。この「共創を強化して、新たな価値を生むサービスをお

■ 飯田と西村が説明したお客様に提供していくことも、当社流サービスビジネスの実現になると捉えています。 こうした「らしさ」を追求しながら、3rd STEPでは国内事業で既存ビジネスモデルの変革による収益基盤の強化を進めるとともに、強みを活用した成長領域への事業展開を進めることで、新規顧客開拓や受注拡大を図ります。 海外事業では、アジアを軸としたグローバルマーケットの事業展開を更に進めていきます。

常務執行役員  
山岡 一裕  
経営管理統括



■ 3rd STEPでは、事業を成長させていくために、中長期的に効果のある評価制度や報酬制度といった人事制度を再構築しながら「育成と採用」を積極的に進め、プロフェッショナル集団を形成していくとともに、「ビジネスパートナーとの連携強化」も推進し、人的リソースの確保に努めていきます。また、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上のため、ESGへの取り組みも進め、経営基盤の強化にも注力していきます。

■ 計画/経営指標 (単位:百万円)

	2017年度 実績	2020年度 計画
売上高	13,559	18,500
営業利益	855	1,776
利益率	6.3%	9.6%
ROE	11.4%	13%



常務執行役員  
西村 秀明  
技術戦略担当

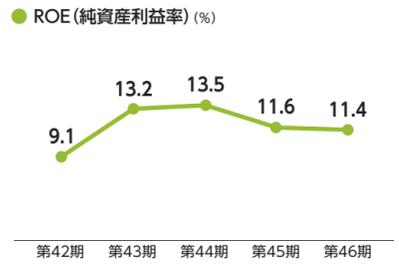
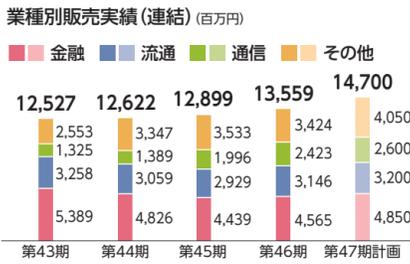
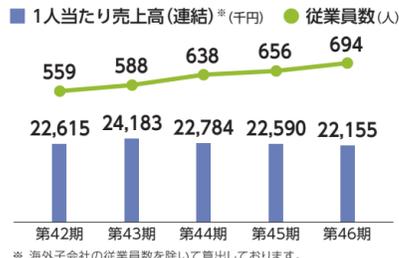
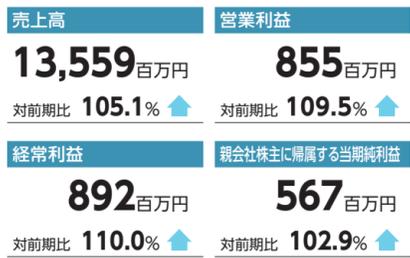


■ 飯田 直近では「働き方改革」も始まり、一人当たりの生産性向上や社員の健康促進など、働く環境の品質向上への取り組みを進めてきました。この点においても3rd STEPに向けた、良い準備期間になったと思っています。

■ 西村 キューブシステム流とは、当社にしかできないサービスの構築と考えています。例えば、2nd STEPに立ち上げた「オラクルクラウドサービス」では、多くのIT企業がアマゾンのAWSやマイクロソフトのアジュールを選択している中、当社はオラクルのクラウドサービスも進めています。もちろん、AWSやアジュールもフォロワーしていますが、他社には真似できない「オラクルクラウドサービス」という新たなサービスの構築を進めてまいります。他にも「ロックチェーン」や「フィンテック」、エネルギー関連マーケットにおける独自の取り組みをスタートさせていきます。

■ 嶋山 3rd STEPの最終年度である2020年度の数値目標は、売上高185億円、営業利益率9.6%、ROE13%を計画しましたが、3rd STEPが「VISION 2020」の総仕上げであり、その先の5年、10年に向けた準備期間でもあることに変わりはありません。そのキーポイントとなるのが「高付加価値なサービスの創出」であり、三人が話したさまざまな取り組みもその実現を目指したものです。3rd STEPでは、高付加価値なサービスを次々と創出していくことにより顧客ビジネスの発展に貢献し、顧客価値の最大化を図ることで、お客さまとともに成長しながらキューブシステムブランドの確立を目指していきます。

財務ハイライト



第46期は増収増益を維持  
第46期の連結業績は、売上高135億59百万円(前期比5.1%増)、営業利益8億55百万円(同9.5%増)、経常利益8億92百万円(同10.0%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は5億67百万円(同2.9%増)となりました。

第47期の見通し  
情報サービス業界全体の見通しにつきましては、IoTによるビジネス活動のスマート化やAIによるビッグデータ解析など、デジタルテクノロジーの進展が更に加速していくものと思われるため、企業のIoT活用が更に高まり、業種の枠を超えた新しいビジネスモデルの創出や競争力を強化する動きが激しさを増すと思われまます。

こうした中、利益の面では、ビジネスモデルをサービス化

業績見通し (単位:百万円)

	2018年度見通し
売上高	14,700
営業利益	1,010
利益率	6.9%
ROE	12.0%

※2018年5月9日発表

することにより収益の改善を図り、品質性と生産性の向上施策を進め、増益を目指してまいります。

売上高については、アカウント戦略によるお客さまとの関係強化により、既存ビジネスでの受注拡大を行い、強みを活かした新領域での展開を見込んでおります。

次期連結業績の見通しにつきましては、売上高147億00百万円(前期比8.4%増)、営業利益10億10百万円(同18.1%増)、経常利益10億10百万円(同13.1%増)、親会社株主に帰属する当期純利益6億40百万円(同12.8%増)を見込んでおります。



オフィスツアーの様子

**ファミリーデー2017を開催**  
社員のご家族への感謝と、「会社と仕事」について理解を深める機会として、ファミリーデー2017を開催いたしました。

昨年は、オフィスツアーや、プログラミングしたロボットとの名刺交換、クイズ大会など、当社の仕事の内容を理解でき、子供達も楽しめるプログラムなどを実施しました。

今後も社員がいそいそと働ける環境づくりを目指し、継続して実施してまいります。



アイデアソン(アイデア抽出)の様子

**CSR活動の取り組み**  
社会貢献や環境、次世代育成のために、キューブシステムグループはさまざまなCSRへの取り組みを実施しております。

**次世代育成支援**  
2017年12月、東洋大学の学生を対象に寄附講座の当社講義に則して、地域・社会に役立つシステムの構築、体験を行っていただくインターシップを開催いたしました。

当日は、グループに分かれて地域・社会に役立つシステムのアイデアソン(アイデア抽出)を行った後、さまざまなセンサー機能を持ったブロック「WESt」を使ってIoT(モノとモノをインターネットでつなぐ)を模したシステムを構築し、最後に発表・評価を行いました。

※「WESt」は「T」株式会社の登録商標です。

**個人投資家説明会を積極的に開催**  
昨年は、名古屋国際会議場、野村證券の日本橋本社にて個人投資家向け説明会を開催いたしました。

名古屋国際会議場では約400名、日本橋本社では約200名の方がたにご参加いただき、社長と役員より、事業内容や今後の成長ビジョン、新規技術の取り組みについてご説明させていただきました。

今後も個人投資家の皆さまと直接コミュニケーションを図ることが出来る場を設けてまいります。



野村IRフェアでのブース説明会の様子



日経IRフェアでの社長による会社説明会の様子

**東京・大阪でIRフェアに出展**  
昨年は「日経IR・投資フェア2017」および大阪で開催された「野村IR資産運用フェア2017」に出展いたしました。両フェアとも多くの個人投資家の皆さまに当社ブースへお越しいただき、当社を知っていただけるよい機会となりました。

なお、今年は8月31日(金)、9月1日(土)に東京ビッグサイトで開催される「日経IR・投資フェア2018」、また来年1月に東京国際フォーラムで開催される「野村IR資産運用フェア2019」にも参加する予定です。

**IR Information**  
IRインフォメーション

企業価値の向上、認知度の向上を目指して個人投資家の皆さまに向けたIR活動を積極的に展開しております。

**会社概要**

商号 株式会社キューブシステム

設立 1972年(昭和47年)7月5日

本社 東京都品川区大崎2丁目11番1号 大崎ウイズタワー

資本金 7億6,897万円

年商 135億円(2018年3月期、連結)

取引銀行 みずほ銀行 五反田支店  
三菱UFJ銀行 五反田支店  
りそな銀行 目黒駅前支店

社員数 746名(2018年4月1日現在、連結)

株式会社北海道キューブシステム  
関連会社 CUBE SYSTEM VIETNAM CO.,LTD.  
上海求歩信息系统有限公司

**株主優待**  
当社は、株主の皆さまの日頃のご支援に感謝するとともに、当社株式への投資魅力を高め、中長期的に保有していただける株主さまの増加促進を図ることを目的に株主優待制度を導入しております。

株主優待は毎年9月末日現在の株主名簿に記載された株主さまを対象に、下記の基準でJCBギフトカードを贈呈いたします。

保有株式数	優待内容
200株以上400株未満	JCBギフトカード 1,000円分
400株以上1,000株未満	JCBギフトカード 2,000円分
1,000株以上	JCBギフトカード 3,000円分

**株主の皆さまの資産価値の向上を目指して、配当金・株主優待の充実を図ってまいります。**

◆ 配当金  
当期につきましては、1株当たり16円の配当とさせていただきます。

当社は、株主の皆さまへの利益還元を経営の最重要課題と認識しており、経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、連続配当性を35%を目安に安定した配当を継続して実施していくことを基本方針としております。

この方針および最近の経営状況ならびに配当方針等を踏まえ、株主の皆さまの日頃のご支援にお応えするとともに今後とも引き続きご支援を賜りたく、第46期の1株当たりの配当金は16円とさせていただきます。

期	1株当たり配当金(円)	配当性向(%)
第43期	14.0	35.2
第44期	14.0	32.4
第45期	14.0	35.8
第46期	16.0	39.4
第47期予想	16.0	35.0

**株式の状況** (2018年3月31日現在)

発行可能株式総数 22,364,000株

発行済株式の総数(自己株式1,235,815株を除く) 14,044,025株

株主数 8,052名

**所有者別分布状況**

所有者	株数	割合
金融商品取引業者	262千株	1.72%
金融機関	2,750千株	17.99%
自己株式	1,235千株	8.09%
その他国内法人	284千株	1.87%
外国法人等	131千株	0.86%
個人・その他	10,614千株	69.47%

**大株主**

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
キューブシステム従業員持株会	1,668	10.91
崎山 収	1,646	10.77
株式会社キューブシステム	1,235	8.08
小貫 明美	401	2.62
内田 敏雄	393	2.57
日本トラスト・サービス信託銀行株式会社(信託口)	324	2.12
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	321	2.10
櫻井 正次	316	2.06
佐藤 俊郁	300	1.96
株式会社みずほ銀行	276	1.80

**株主メモ**

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月中

上記基準日 毎年3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して臨時に基準日を定めます。

配当金受領株主確定日 毎年3月31日 (中間配当を行う場合は9月30日)

株主名簿管理人特別口座の口座管理機関 〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 東京都府中市日鋼町1-1 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (受付時間: 平日9:00~17:00/フリーダイヤル)

公告方法 電子公告(当社ホームページ <https://www.cubesystem.co.jp/> に掲載。) ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載する。

**株式に関するお手続き用紙のご請求について**  
特別口座に記録された株式に関するお手続き用紙のご請求は、以下のお電話ならびにインターネットにより受け付けておりますので、ご利用下さい。  
TEL 0120-232-711 (受付時間: 平日9:00~17:00/フリーダイヤル)  
インターネットアドレス <https://www.tr.mufig.jp/daikou/>

